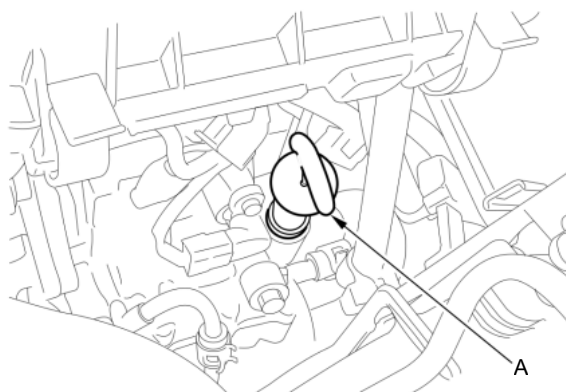
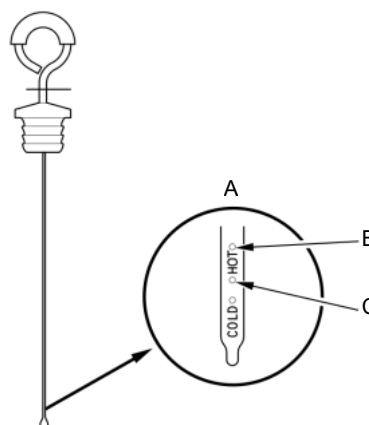


トランスミッションフルード (HMMF) の点検

1. 車両を水平な場所におき、エンジンを始動する。
2. ラジエータ ファンが1回作動するまで暖機運転を行い、エンジンを止める。
知識 トランスミッションフルード量の点検は、エンジンを止めた後60秒から90秒の間に行うこと。
3. レベルゲージ (A) を外してきれいな布などでふいて戻し、再度レベルゲージを外してトランスミッションフルード量を点検する。



4. レベルゲージ先端 (A) HOTゲージでトランスミッションフルード量がアッパレベル (B) とロアレベル (C) の間にあるか点検する。
 - アッパレベルより多い場合は、ドレンボルトを外してトランスミッションフルードを抜く。トランスミッションフルードを規定量にする。
 - ロアレベルより少ない場合は、フルード漏れなどの異常がないかを点検する。異常がある場合は修理を行う。



5. 補充が必要な場合は、指定のHonda純正ウルトラHMMFをレベルゲージパイプの開口部 (A) から注入し、レベルゲージのアッパレベルとロアレベルの間まで補充する。

アドバイス

トランスミッションの中にごみなどが入らないように注意すること。

